

令和8年度 [1]年[道徳]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 (1) 自己を見つめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考えることができる。 (2) 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身につけることができる。
----	--

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	困難を乗り越える力 社会のきまり	・困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜く強い意志の大切さに気づく。 ・進んできまりを守ろうとすることが、よりよい社会の実現につながることに気づく。 ・筆者の生き方を考えることで、人間には弱さとともにそれを克服する強さや気高さがあることに気づく。
	5月	弱さを乗り越え生きる 言葉のもつ不思議な力 友達のよさ よりよい社会のために	・自分の周りにはさまざまな支えが存在していることに気づく。 ・自分にも友達を励まし支えていくことができることに気づく。 ・身近であっても解決が一筋縄ではない現代的な問題について自分の考えをもつ。
	6月	礼儀の心 いじめのない集団 心から信頼できる友達 心がときめくとき	・あいさつが人間関係や社会生活を円滑にするものであることに気づく。 ・人間としてよりよい集団を築くためには、いじめなどを見て見ぬふりをしてはならないことに気づく。 ・ロールプレイをとおして、心から信頼できる友情について深く考える。 ・相手の心や思いを素直に受け止め、互いの人格を尊重し合う関係を築くことが大切だと気づく。
	7月	みんなが同じがよいのか ともに生きる	・生命は連続とつながっており、関わり合い支えあってきたことを深く自覚するとともに、与えられた生命を精一杯生きようとする態度を養う。
二 学 期	9月	安全への心構え 多文化の理解を深める 公平とは何か 生まれてきた大切な生命	・日々の生活を振り返り、安全や防災への意識や具体的な行動について考える。 ・困難があってもお互いの文化や習慣を尊重し合う関係を築くことが大切だと気づく。 ・友達の意見を聞きながら、公平の意味についての考えを深める。 ・人々を懸命に救おうと頑張るマザー・テレサの姿から、命の重さについて気づく。 ・競技の勝ち負けを超えて、お互いを大切にし、力を合わせて集団で取り組む意味に気づく。
	10月	みんなをまとめる力 心のこもった仕事とは 自分の意志で 働くことの尊さ	・新津さんの生き方から、働くことの喜びを通じて社会とつながるよさに気づく。 ・クラスの一員として自らの役割と責任を自覚し、協力しあって学校生活を充実させようとする態度がみられる。 ・社会における自らの役割や将来の生き方を考える。 ・法やきまりが果たしている社会の役割について気づく。
	11月	自他の権利と法の遵守 つながりが生み出す力 つながる生命	・よりよい社会を実現するためには、一人ひとりの意識を高め、力を合わせて行動に移すことが大切だと気づく。 ・筆者や家族の思いを考えることを通して、周りの人々の思いの上に自分が生きていることに気づく。 ・地域に伝えられてきた伝統文化を、自分たちが受け継いでいく大切さに気づく。 ・自然の一部としての人間という認識を持ち、自然を守ることの大切さに気づく。
	12月	郷土芸能を伝える 自然を愛する 自然に感動する心	・オーロラ的美しさや神秘さを自分の自然体験と比べながら感じ、自然に対する畏敬の念を深める。

三 学 期	1月	支えあう家族 伝統を守る	・家族から受けている無償の愛情や激励に気づく。 ・史峰の生き方に触れることにより、日本の文化や伝統を大切にし、日本人として誇りをもって生きようという思いをもつ。
		世界平和のために	・ゆかりの気持ちの変化を捉えることで、国際的視野から世界平和と人類の発展を考える大切さに気づく。
	2月	誠実な生き方	・こうすべきだと分かっているけどできない人間の弱さを乗り越え、責任をもつことの大切さに気づく。
		お互いを認め合う	・余りをつくらない生き方のために、お互いの存在を認め尊重し合うことが大切なことに気づく。
		人間として生きる喜び 社会の中の思いやり	・フランクの心情の変化を追いかけ、誰もがもつ人間の弱さ、醜さに気づく。 ・多くの人の善意により社会生活が成り立っていることに感謝し、人間愛の精神をもって思いやりの心をもつ。
	3月	ふるさとへの思い	・郷土の伝統と文化の良さを理解し郷土への誇りや愛情を持ち、郷土に対して主体的にかかわろうとする実践意欲をもつ。
		理想に向かって	・鈴木さんの生き方を手がかりに、自分にとって実現したいと思える理想を見つけようとする意欲をもつ。

道徳の評価について

学習活動において、授業内での感想や意見、グループ討議の様子などをもとに、①主体的に考え、活動しているか②授業での学びを通して、自らの考えを深めたり、行動をとろうとしたりしている姿を文章評価する

令和8年度 [2]年[道徳]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目 標	人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための道徳性を養う。 (1)道徳的な判断力、心情を養う。 (2)道徳的な実践意欲と態度を育てる。
--------	--

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	自分の弱さの克服	・自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さを持ち、人間として気高く生きようとする態度を育む。
		働くということ	・働く喜びを得て自分の仕事に誇りをもつことが充実した生き方につながることを理解して、主体的に将来の生き方を考えようとする実践意欲を引き立てる。
		心を形に	・礼儀が相手を尊重し敬愛する気持ちにつながることに気づく。
	5月	支えあう生命	・生命がかげがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きること感謝する心情を養う。
		自分を信じて	・登場人物の考え方をとおして、自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする判断力の大切さに気づく。
		本当の友達	・心から信頼できる友達について考えを深める。
	6月	個性を尊重する社会	・正義の公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める心情を育む。
		真実を追い求める	・真理や真実を求め、理想の現実を目指して、よりよく生きようとする態度を育てる。
		国際社会の一員	・世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重しながら、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。
	7月	規則の役割	・互いにすみよい社会を目指す精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。
		地域の伝統の大切さ	・郷土の伝統と文化を大切に、地域社会の一員としての自覚をもって、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲や態度を育てる。
		私たちがつくる校風	・集団で協力し合う大切さに気づき、狭い仲間意識を超えよりよい校風を作ろうとする意欲を育てる。
二 学 期	9月	自己を見つめる	・人それぞれにかならずその人固有のよさがあることを理解し、その発見と自己受容、自己理解に努め、自分らしさを発揮できる生き方を求める。
		社会のためにできること	・社会参画の意識を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現のために貢献しようとする態度を育む。
		私の中の日本	・国際社会に生きる日本人としての自覚や、我が国の伝統と文化への誇りを持ち、そのよさを発展させ、発信していこうとする実践意欲を育てる。
	10月	初心に戻る	・目標や希望をもって生活することの大切さや意義を理解し、その達成をめざして、困難などがあっても強い意志でやり遂げようとする態度を育てる。
		真の友情	・障がいにとわたり尊敬と信頼に支えられた真の友情について深く理解し、互いに認め、高め合う友情を育もうとする態度を育てる。
		自然環境を守る	・人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を受けていることを理解し、そのありがたさに感謝するとともに、自然を守り大切にしようとする態度を育む。
11月	わかり合うこと	・人にはさまざまな考え方があることを理解し、自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他者に学ぼうとする謙虚な態度を育てる。	

	12月	調和のある生活 家族のきずな 日本文化の心 さりげない優しさ 美しいしきたり 責任ある行動	<ul style="list-style-type: none"> ・調和のある生活や節制を心がけるために、周りの人の生活を見つめることで自分の生活をみなおし、思慮深く内省しようとする態度を養う。 ・自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気づき、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を育てる。 ・我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、そこに込められた「日本人の心」に気づき、大切にしようとする心情を育てる。 ・相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことを理解し、潤いのある温かな人間関係を築こうとする態度を養う。 ・社会連帯の根底にある相互扶助や思いやりの心を理解し、よりよい社会を生み出す主体者として行動しようとする実践意欲を養う。 ・誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動して、その結果に責任をもとうとする態度を育てる。
三学期	1月 2月 3月	規則を守る 真の国際協力 思いやりへの感謝 懸命に生きる 友情と好意 強く気高く生きる 輝く生命 いじめへの公正な態度 社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりは幸福な社会を実現するためにあることを理解し、それを遵守しようとする判断力を育む。 ・それぞれの国の伝統と文化に各国民が誇りをもっていることを理解し、そのうえで日本人として国際協力を積極的に行おうとする態度を培う。 ・人間は多くの人々のさりげない善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気づき、それに感謝しようとする態度を育てる。 ・限り有る生命を懸命に生きることの大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする心情を養う。 ・真の友情は悩みや葛藤を乗り越えることで培われるものであることを理解し、相手に信頼される自分になろうとする実践意欲を高める。 ・人間にある弱さや醜さを自覚しながらも、強く気高く、人間として生きる喜びを見いだそうとする態度を深める。 ・かけがえのない生命を与えられていることに気付いて感謝し、自他の生命を尊重しようとする実践意欲を培う。 ・偏見を正し、正義を貫こうと決意する主人公「僕」の姿に共感することを通して、正義を重んじ、偏見や差別をなくしていこうとする態度を育てる。 ・それぞれの職業が社会の発展に貢献していることを理解し、将来の生き方について考えを深めようとする実践意欲を養う。

道徳の評価について

学習活動において、授業内での感想や意見、グループ討議の様子などをもとに、①主体的に考え、活動しているか②授業での学びを通して、自らの考えを深めたり、行動をとろうとしたりしているかを文章評価する

令和8年度 [3]年[道徳]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目 標	人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための道徳性を養う。 (1)道徳的な判断力、心情を養う。 (2)道徳的な実践意欲と態度を育てる。
--------	--

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	希望と勇気、克己と強い意志	・困難に直面しじけそうになっても、状況を見つめ直し、前向きかつ柔軟な姿勢で行動することで、人は成長できることを自覚し、希望と勇気をもって目標を達成しようとする実践意欲を育てる。
		よりよい学校生活、集団生活の充実	・一人ひとりが集団の一員であるという役割と責任、尊敬と感謝の意識をもって、自分たらしさを発揮することで集団の成長が実現することを自覚し、集団生活を充実させようとする実践意欲を育てる。
		勤労	・仕事の素晴らしさややりがいは、仕事と自分自身、相手、社会それぞれとの関係から多様に見いだせることを自覚し、自分の能力や個性を生かした働き方をしようとする実践意欲を高める。
		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	・優れた伝統と文化を大切に、鋭く広い視野でよりよいものを創出することが伝統文化の継承と発展につながることを自覚し、社会の形成者として文化の継承と発展に寄与しようとする態度を育てる。
	5月	友情、信頼	・友達とは、無批判に同調したり表面的に付き合ったりする存在ではなく、互いに励ましあい、高めあう存在であることの自覚を通して、友達を一層大切にしようとする実践意欲を育てる。
		公正、公平、社会正義	・集団の圧力に負ける人間の心の弱さや醜さは深い心の傷を生むことや、集団の中で一歩踏み出すことがその克服につながることを自覚し、差別や偏見を人間として集団として許さない態度を育てる。
		国際理解、国際貢献	・国際社会で生きるためには、世界の中の日本人として、民族や国を超えた人類愛をもって尊重し助け合うことが必要であることを自覚し、世界平和や人類の幸福を願い、貢献しようとする心情を育てる。
	6月	生命の尊さ	・生命はただ存在するのではなく、その生命を未来へ生かしつなごうとした多数の生命の意志があるからこそ尊い存在であることの自覚を通して、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。
		自主、自律、自由と責任	・真に自分でやろうと決めたことを誠実に実行していくことが、自律的な生き方につながることの自覚を通して、自分の行為の結果に責任をもち、自律的に生きていこうとする態度を育てる。
		相互理解、寛容	・他者の考え方や見方の違いを受け入れて共に考えることで、自分の考え方や見方が豊かに広がり、新しい発想につながることの自覚を通して、謙虚に他に学ぼうとする態度を育てる。
7月	社会参画、公共の精神	・社会の中で主体的な役割をもつことで、私たちは生きる自信と喜びがもてるようになり、共に生きる社会が実現することの自覚を通して、よりよい共生社会を実現しようとする実践意欲を育てる。	
	向上心、個性の伸長	・報われない努力や失敗、自分の弱さが成長の糧であり、それらを前向きに受け入れることでよりよい自分になれることを自覚し、向上心をもって自分らしく生きようとする態度を育てる。	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	・郷土の未来のために尽くした先達のおかげでいまの暮らしを営めており、自分も地域社会の形成者であることを自覚し、郷土に貢献しようとする実践意欲を育てる。	
二 学 期	9月	公正、公平、社会正義	・弱い存在に優越感を抱くなどの差別・偏見の考え方から脱却し、互いに理解しようとする姿勢がよりよい社会につながることを自覚し、豊かな人権感覚のある社会の実現に努めようとする態度を育てる。
		友情、信頼	・同性か異性かを問わず、相手の内面的なよさに目を向け、認め合い励ましあう関係が、互いの人間としての成長を促すことの自覚を通して、互いに向上させ合う関係を築こうとする実践意欲を育てる。

		<p>向上心、個性の伸長</p> <p>遵法精神、公德心</p> <p>よりよく生きる喜び</p> <p>思いやり、感謝</p> <p>勤労</p> <p>社会参画、公共の精神</p> <p>自然愛護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことは自分の独自性であり、かけがえのない自分を伸ばすことで人生が輝いていくことの自覚を通して、自分らしい充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。 ・法やきまりは、みんなの権利や幸せを守るためにみんなで知恵を出して厳格に作ったもので、それらに従うことも思いやりある行為であることを自覚し、立法者の視点を大切にしようとする態度を育てる。 ・これまで歩んできた自分の人生だからこそのできること、すべきことがあり、それを実行することが気高い生き方につながることの自覚を通して、自分のよりよい生き方について考えようとする心情を育てる。 ・思いやりとは相手を気遣いながら関わろうとする心であり、その心を形に表してこそ相手との心の通い合いが生まれることの自覚を通して、思いやりを素直に表そうとする実践意欲を育てる。 ・働くことで、社会や他社の生き方を支えることができ、自分の成長や豊かな生き方にもつながるものの自覚を通して、労働を通して社会に貢献する生き方をしようとする実践意欲を高める。 ・世界規模の課題でも自分ごととして捉え積極的に関わろうとすることが、根本的な解決につながっていくことの自覚を通して、社会の一員としてよりよい社会をつくろうとする態度を育てる。 ・自然には、その地に生きる人間の歴史と結びついた文化としての側面もあり、文化を存続させることが自然との共生につながるものの自覚を通して、進んで自然の愛護に努めようとする態度を育てる。
	10月	<p>真理の探究、創造</p> <p>社会参画、公共の精神</p> <p>生命の尊さ</p> <p>節度、節制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心をもち、楽しみながら疑問を探求し続けることが、新たな発見や創造につながるものの自覚を通して、自らの好奇心を大切に、新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。 ・社会の一員として、その地域社会の活動に積極的に関わることで、誰もが安心・安全に暮らせる地域をつくっていけることを自覚し、社会全体の利益のために尽くそうとする態度を育てる。 ・生命の大切さは何よりも優先されるものであるが、それは、生命の有限性や唯一性、連続性など多様な視点から考えられることを自覚し、自他の生命を尊重しようとする判断力を育てる。
	11月	<p>礼儀</p> <p>感動、畏敬の念</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自制とは、我慢のような消極的なものではなく、自分を制御して人生の主人公になることであり、自制することで人生が豊かになることの自覚を通して、よい生活習慣を身につけようとする態度を養う。 ・多様なマナーの根底には相手を大切にする考えが共通して存在し、マナーによって人間関係を円滑にできることの自覚を通して、さりげなく礼節ある言動をとろうとする実践意欲を高める。 ・自然や人間の力を超えたものに会ったとき、人は心を動かされて癒され、その感動が心豊かに生きるための活力となることの自覚を通して、畏敬の念をもって素直に受け止めようとする心情を育てる。
	12月		
三学期	1月	<p>国際理解、国際貢献</p> <p>よりよく生きる喜び</p> <p>思いやり、感謝</p> <p>家族愛、家庭生活の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的視野に立ち、世界平和のために自分ができることを主体的に模索し、実践することが重要であることを自覚し、世界平和や人類の幸福に貢献しようとする実践意欲を育てる。 ・多くの人との関わりや経験を基に形作られる自分自身の信念をもつことが、気高く力強い生き方につながるものの自覚を通して、信念をもってよりよく生きようとする実践意欲を育てる。 ・自分が一歩踏み出すことではじめて周囲の思いやりや気遣いに気づき、感謝の思いや生きる喜び、相互のきずなが芽生えることを自覚し、周囲からの善意を次につなげようとする態度を育てる。 ・家族に支えられていることに感謝し、自分も家族を支えることで、家庭生活を築く一員になれることの自覚を通して、充実した家庭生活を築こうとする態度を養う。
	2月	<p>遵法精神、公德心</p> <p>社会参画、公共の精神</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も社会の一員だという意識があると、法や規則を、他律的ではなく「守りたいから守る」と主体的かつ自律的に守れるようになることの自覚を通して、自ら規則を守ろうとする態度を育てる。 ・社会の一員としての権利を積極的に理解し、主体的に社会の形成に関わろうとすることが、よりよい社会の実現につながるものの自覚を通して、他者とともに社会参

		生命の尊さ	画しようとする態度を養う。 ・生命には必ず終わりがあることを認識したうえで、その一回限りの生命を、希望をもって懸命に生きようとする事で人生が豊かになることの自覚を通して、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。
--	--	-------	---

道徳の評価について

学習活動において、授業内での感想や意見、グループ討議の様子などをもとに、①主体的に考え、活動しているか②授業での学びを通して、自らの考えを深めたり、行動をとろうとしたりしているかを文章評価する。